

Title	ナショナルイノベーションシステム（N I S）の進化と政策的対応
Author(s)	
Citation	年次学術大会講演要旨集, 18: 212
Issue Date	2003-11-07
Type	Presentation
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5977
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	シンポジウム

シンポジウム

ナショナルイノベーションシステム（N I S）の 進化と政策的対応

問題提起

馬 場 靖 憲 （東京大学先端経済工学研究センター教授）

ナショナルイノベーションシステムの進化：20年遅れての出発

事例報告

能 見 利 彦 （新エネルギー・産業技術総合開発機構企画調整部主幹研究員）

我が国のN I Sの実態

山 本 眞 一 （筑波大学大学研究センター教授・センター長）

国立大学の法人化により、日本の大学はどう変わるか

宮 林 正 恭 （千葉理科大学〔2004年4月開学予定〕副学長）

公的研究機関の独立行政法人化のインパクト

—公的研究機関経営論の視点から—

加 山 幸 浩 （株式会社イーシー・ワン代表取締役社長）

ベンチャー振興，目利き，大企業スピンアウト

西 野 壽 一 （株式会社日立製作所中央研究所所長）

企業経営へのイノベーションの浸透

司 会

渡 部 俊 也 （東京大学先端科学技術研究センター教授）

趣 旨

バブル崩壊後の企業経営の見直しや企業戦略の転換、T L O法や遠山プラン等を契機とした産学連携や大学発ベンチャーの機運の高まり、国立研究所と国立大学の法人化など、日本の研究開発体制は現在大きな転換期を迎えている。本シンポジウムでは広く「N I Sの進化」という視点からこうした変化の実態を個別に検証し、整合的な研究開発体制を実現していくために、いかなる政策的対応が必要であるかについて議論を深めていきたい。